

猫の歯周病に関する回顧的検討

Retrospective study about periodontal disease of cats

山崎 真実 厚木プリモ動物病院 2 3 時



三浦 貴裕³⁾ 白畑 壮⁵⁾ 草場 宏之²⁾ 佐藤 陽子¹⁾ 小宮山 祥太⁴⁾ 小田嶋 希佳⁵⁾ 永田 あかね¹⁾ 和田 藍果⁴⁾ 吉村 忍⁵⁾ 高田 麻由³⁾ 鈴木 義之⁵⁾
1)厚木プリモ動物病院23時 2)横浜戸塚プリモ動物病院 3)相模大野プリモ動物病院 4)相模原プリモ動物病院 5)プリモ動物病院相模原中央

はじめに

歯周病が全身性疾患へ関与することが言われているが、猫における報告は非常に少ない。今回、当院において歯科診療を実施した猫 114 症例を抽出し、歯周病の評価および臨床検査項目を年齢ステージおよび歯周病悪性度スコアごとに比較をし、猫における歯周病と全身性疾患の関与について、回顧的に検討した。

方法

歯周病重症度スコア分類1~4での比較

(Harvey CE & Emily PP (1993) Small animal dentistryによるクラス分類を使用)

血液検査項目：PCV, Hb, WBC, Plat, BUN, Crea, GLU, ALT, ALP, TP, ALB, Glob

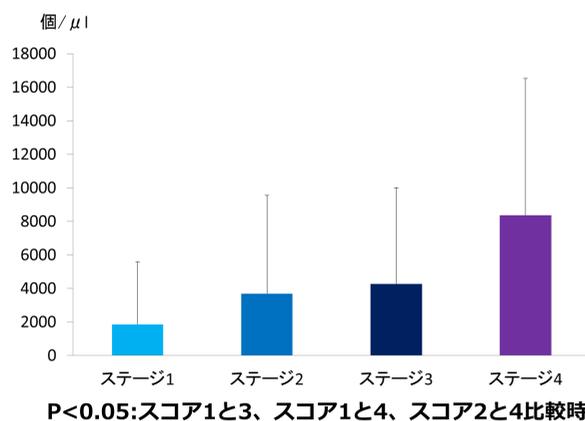
その中で有意差があったものを以下にグラフ化した。

結果

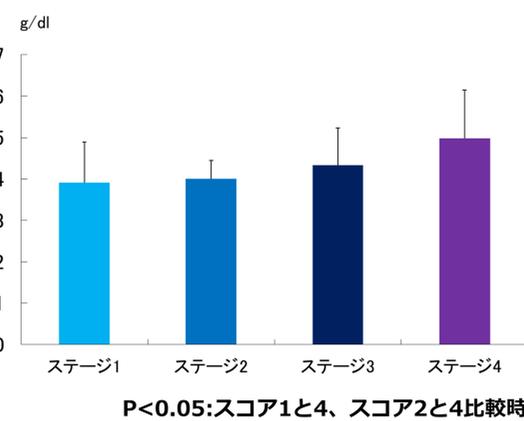
年齢ステージでの比較

36カ月齢以下、36~72カ月齢、72カ月齢以上の3ステージに分類し、血液検査項目での比較を行った。各ステージ間での有意な差は認められなかった

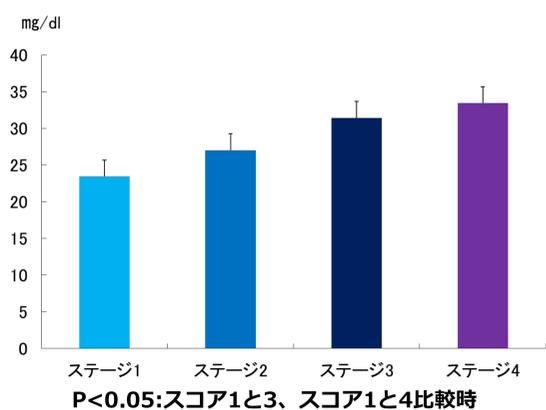
WBC



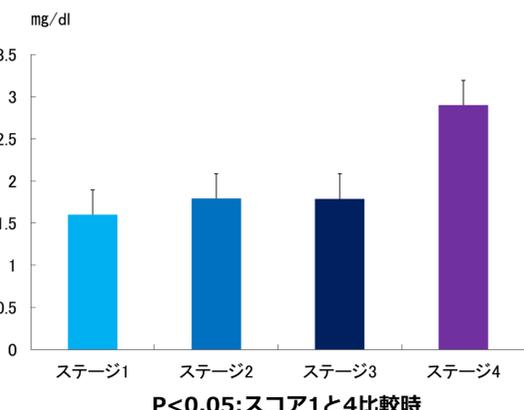
Glob



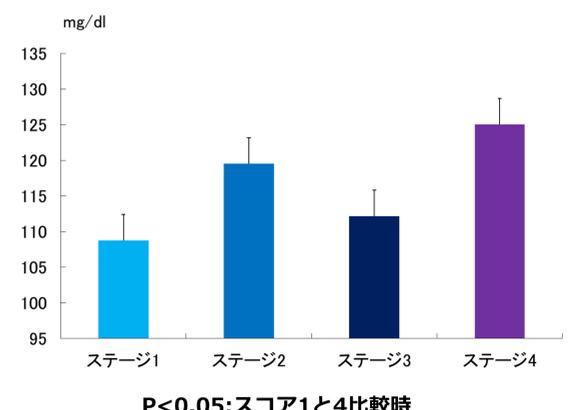
BUN



Cre



Glu



考察

- 年齢ステージでの血液検査項目の有意差は見られなかった。
- 歯周病ステージでの血液検査項目はいくつか有意差が見られた。
- 歯周病スコアの上昇に伴い、WBCとGlob、BUNとCre、Gluの上昇が認められた。他項目においては、ステージ比較での有意差は得られなかった。

これらの結果から、歯周病と腎臓病、糖尿病に関連がある可能性が示唆された。

また、炎症性メディエーターの上昇で遠隔臓器に影響が出ることが考えられる。

今後、検体数を増やし、猫の歯周病と全身性疾患の関連が示されることが期待される。

参考文献

- 1) Almeida S, Figueredo CM, Lemos C, et al. Periodontal treatment in patients with chronic kidney disease: a pilot study. J Periodontol Res. 2016 May 2;doi: 10.1111/jre.12390.
- 2) Grubbs V, Vittinghoff E, Beck JD, et al. Association Between Periodontal Disease and Kidney Function Decline in African Americans: The Jackson Heart Study. J Periodontol. 2015 Oct;86(10):1126-32..
- 3) Harvey CE, Emily PP: Small Animal Dentistry. C.V. Mosby. 1993.
- 4) Steven E. Holmstrom: 犬と猫の歯科学. 林一彦監. インターズー. 2000, pp55-57
- 5) 坂野雅洋, 稲垣幸司, 真岡淳之ほか. 糖尿病教育入院患者の歯周病罹患状態と糖尿病合併症との関係. 日歯周誌 48(3):165-173, 2006.
- 6) Luke R, Khan SN, Iqbal PS et.al. Estimation of Specific Salivary Enzymatic Biomarkers in Individuals with Gingivitis and Chronic Periodontitis: A Clinical and Biochemical Study. J Int Oral Health. 2015 Sep;7(9):54-7.